

事業計画書

事業名 (分野)	事業の概要 (目的、事業内容、実施予定期間、実施予定場所、参加予定者数)
防災体験広場 (防災)	住民が火災、台風、地震等の災害から自分や家族の命を守るために、災害時の模擬体験を通して被害に遭わないための対処や避難について学ぶとともに、DVD等により実際の災害の恐ろしさを知り、防災への関心と意識を高める。 ◆実施日→R2/11/29 ◆参加者→100名想定 ◆場所→ふれあいセンター
まちなみクリーン事業 (整美・交流)	地区の防犯の拠点である「安全安心交流センター」及びその周辺の清掃や花壇の整美に努め、防犯活動や会議の拠点として気持ちよい利用を期待するとともに、住民がこぞって団地内のクリーン活動に参加し、街並みの整美により防犯の環境を醸成する。 ◆実施日→通年活動 ◆参加者→30名想定 ◆場所→「安全安心交流センター」
「まちづくり通信」発行 (広報)	まちづくり活動の主役である住民へ「まちづくり」の活動状況や予定、町のニュース等を知らせるために、毎月、各戸配布で定期的に「通信」を発行し、住民のまちづくり活動への意識の高揚を諮るとともに、まちづくり活動への理解と行動の啓発を進める。 ◆実施日→毎月1日発行 ◆配布先→各戸配布 ◆発行部数→1800部。
「地域年間行事予定表」作成 (広報)	住民に対して、この町で、いつ、どこで、何があるのかを知らせ、行事の重複の防止や行事への参加を促すために、年間の行事予定表を作成。定期的開催される全体会で加除修正を行い、常に新しい情報を住民に知らせることにより行事への参加を促す。 ◆発行日→R2/6/15 ◆配布先→協議会委員及び参加団体、関係機関。
高齢者・学童見守り活動 (防犯・交流)	学童の登校時は出勤車両の往来が激しく、歩行中の高齢者も含めてその安全が脅かされる状況にあることから、安全確保のために大通り沿いの要所で老人クラブ会員が毎朝、立哨を行い学童及び高齢者の安全を見守りつつ、挨拶や声掛けを通じて交流を深める。 ◆実施日→登校日の午前7時から1時間 ◆場所→大通り寄りの通学路4か所。
まちづくり講演会 (郷土理解)	終の棲家として選んだ「ダイヤモンド」、ここを「ふるさと」として生まれ育った子供たち・・・ダイヤモンドの成り立ちや造成の苦労を当事者の経験談を通して知ることにより、郷土への愛着と未来へ向けての「まちづくり活動」への意欲を喚起する。 ◆実施日→R2/11/8 ◆場所→ふれあいセンター ◆予想参加者→概ね100名を想定
協議会の運営	協議会を運営するために要する日常経費を計上するもので、総会や役員会、部会、事務局会等の会議開催、および事業実施に関わる資料作成、各種事務用品、交流センターの維持管理費用等に充当し、まちづくりの円滑な活動を期する。 ◆実施期間→R2/4/1~R3/3/31 ◆場所→ふれあいセンター&交流センター、他
【交付対象外事業】 防犯パレード (防犯)	安全で安心して住めるまちづくりのために、この町から犯罪を出さない、遭わないための住民の防犯意識を高める啓発パレードを実施する。 ◆実施日→R2/10/25 ◆参加者→350名想定 ◆場所→団地内大通り
【交付対象外事業】 ふれあいウォーキング (交流)	まちづくりの基本である住民の交流を深め、広げるためにウォーキングを実施し、ゴール後は「ふれあいカレー」を食しながらの交流タイムを楽しむもの。 ◆実施日→R2/11/24 ◆参加者→200名想定 ◆場所→団地内及び周辺
【交付対象外事業】 青パト見守り活動 (防犯)	子供たちの登下校や公園等での遊びの安全を図るために、防犯見守り、団地内の公園や危険個所のパトロール。年間を通じて住民が自主的に参加して見守りを行う。 ◆実施→年間250回前後 ◆参加者→40名 ◆場所→団地内(1丁目~4丁目)